

道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

「鏡の法則」

新年明けましておめでとうございます。2018 年、平成 30 年がスタートしました。

今年の干支は戌年（いぬどし）です。犬は人との付き合いも古く、社会性があり忠実な動物です。皆さんは「忠犬ハチ公」という物語を知っていますか。いつも駅前で飼い主の帰宅を待っていた犬が、ある日外出先で急死して帰ってくる事のない飼い主をなんと 10 年間も待ち続けたという話です。この話のように、犬は人に寄り添う存在で「勤勉で努力家」と言われています。年の初めには誰もが「今年こそは」と心に期した抱負があると思いますが、その気持ちも一日、二日と日が過ぎるにつれて薄れ、惰性に流されてしまうことがあります。2 学期の終業式で「諦めずに努力を続けることの大切さ」を話しましたが、皆さんにとって今年は「**地道に努力する年**」となるように願っています。

6 年生は、いよいよ 3 日後に大学センター試験の本番を迎えます。当日までの体調管理をしっかり行い、本番では自分の力を信じ頑張ってください。健闘を祈ります。

さて、昨日の始業式で、「倍返しの怪物」という外国の寓話を紹介しました。以下の内容です。

昔、ある村に獐猛（どうもう）な怪物がいました。ある日、村と外の世界を結ぶたった一つの道を怪物がふさぎ、村人たちが悩ましていました。勇敢な若者たちが怪物を退治しようとしたのですが、ことごとく失敗に終わりました。怪物は不思議な力を持っていて、どんなに強力な武器で攻撃しても、その 2 倍以上の力で対抗してきました。最初の若者は、木の棍棒（こんぼう）で襲い掛かり、その 2 倍の大きさの棍棒で叩きのめされました。2 番目の若者は、炎で攻めかかりましたが、その 2 倍の熱さの炎を吹きかけられて焼かれました。3 番目の若者は、鋼の剣で挑みましたが、長さも切れ味も 2 倍の剣で真っ二つにされました。

3 人の若者の死を見て、村人たちは怪物と闘うことをやめ、不自由な暮らしを辛抱するようになりました。ある日、普段村人たちから馬鹿にされていた若者が「怪物を退治する方法がある」と言い、怪物に挑みました。若者が持っていたのは、リンゴと水でした。若者はリンゴ一つを手に取り、怪物に近づき「お腹すいてないかい」と声をかけました。怪物は目をつぶるようにして、リンゴのにおいをかぎ、若者の震える手からそっとリンゴを口に放り込みました。そして、片手を上に大きく振り上げ、地面に握り拳を叩きつけました。怪物が手を開くと、そこに真っ赤でみずみずしいリンゴが二つありました。次に、怪物は水を飲みほした後、もっと澄んでおいしい水が注がれた器を二つ出現させました。さらに、彼がにっこり笑ってみせると、怪物も笑顔を二度返してくれました。

その様子を見て村人たちは大変喜びました。怪物は村の災いではなく、村の恵みになったのです。

この怪物は、鏡のように相手のとった行動をそのまま返しているに過ぎません。この世の中も同じようなことがありますか。「おはよう」と挨拶をすれば、「おはよう」と返ってきます。無視すれば無視をされます。つまり、良いことも悪いことも自分に帰ってくるということです。鏡を覗いた時を思い返してください。自分の寝癖を直せば鏡の中の寝癖も直る。笑いかければ鏡の中の自分も笑う。自分の周りの人たちや出来事は自分を映し出しているという意味で「**鏡の法則**」と呼ばれます。鏡の中を直したければ**自分を変える**。相手直したければ**自分自身を見つめ直す**ということです。

「鏡の法則」によく例えられる「**タライの水**」という話があります。水を張ったタライの中で、水が欲しいと両手で自分の方に水を引き寄せた時、水はタライの両方の側面に沿うように向こうへ逃げていきます。反対に水を押しやると、今度は両方の側面に沿ってこちらへやってきます。幸福を独り占めしようとするとう逃げたしまうが、相手のために尽くしていると幸福がやってくるという教えです。

また、村人がこの怪物を見ていたように、**他人に対して簡単にレッテルを貼ってしまう**ということはないでしょうか。私たちは何か悪いことの原因を人のせいにする前に、自分の行動を見つめ直すことも大切です。自分が心を開いたことによって、相手も心を開いてくれた。こちらが相手を理解したことで、相手もこちらを理解してくれる。このように、より良い人間関係を築くために、今年**不平不満を口にしない、愚痴を言わない、笑顔で挨拶する等のプラス発信を心掛けて欲しい**ものです。

3 学期は、1 年間のまとめの学期であるとともに、**新しい学年の 0（ゼロ）学期**です。短い学期ですが新年度の準備もしっかりしてください。3 学期も「**明るく楽しく前向き**」(A T M) に学校生活を送ってくださることを願っています。